

神戸マラソン2023

【出場結果】

実施日 : 11月19日(日)

コース : 神戸市役所前スタート、明石海峡大橋西方(垂水区西舞子)折り返し、ポートアイランド(市民広場付近)ゴール

(公財)日本陸上競技連盟及びワールドアスレティックス(WA)/AIMS公認コース

出場者 : 加藤 平

リザルト:

	加藤
タイム	2:19'14"
順位	8位入賞 / 19,579名

【レポート】

先週の日体大記録会 10000m で 28 分 42 秒の新電元記録を更新した加藤が、12月3日に行われる福岡国際マラソンの調整として神戸マラソンに出場しました。

今回は、調整レースの位置付けであり、前半から中盤にかけては普段の練習をイメージして、リラックスに心がけ、余裕を持った状態で後半にペースアップするプランでレースに臨みました。

当日は、前日まで吹き荒れた強風も落ちつき、暖かな日差しの降り注ぐ中、まずまずのレースコンディションでレースはスタートしました。



神戸の美しい街並みの中でスタートを待つ選手達

外国人選手が形成する先頭集団のペースは1 km 3分5秒前後を刻む中、加藤は予定通り1 kmを3分20秒程のペースで、普段の練習のようにリラックスした表情で淡々とピッチを刻みました。中間地点を1時間10分50秒台で通過し、予定通りの走りを見せてレースは進みます。



1 km 3分20秒ペースを確実に刻む加藤



ペースは変わらないまま、レースは後半へ!

30 km迄は1 km 3分20秒ペースを押し通しましたが、30 km以降はペースを3分13~10秒に上げると、前方を走るランナーを次々と抜き去り、表情は常に余裕を持ったまま、ゴール地点のあるポートアイランドの市民広場に向かいました。

軽快な足取りは最後まで衰えず、気づけば日本人3位となる、総合8位入賞の2時間19分14秒でのゴールとなりました。



リラックスした走りの中でも強さを見せた加藤



8位入賞!!おめでとう!!!

【総評】

2週間後に控える福岡国際マラソンを見据えてのレースとなりましたが、自身の掲げたプランを本番のレースで確実に表現する加藤には心身共に「強さ」を感じることが出来ました。

次の福岡国際マラソンでは上位入賞を目指し、前半から先頭集団に挑んでレースを進めることとなりますが、今の加藤であれば目標を「結果」に結びつけてくれると確信します。

当日はテレビ朝日系列 24 局ネットで生放送されますので、テレビ放映で加藤へのご声援をお願い致します。引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。

以上